

2019年7月7日(日)朝10:10～ 主の聖霊降臨節第5、自由交歓会等  
7月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**百人隊長の信仰告白①**(10、11節)

聖書：マタイ 8章10b～12節

＜口語訳＞

新約聖書11～ 頁

マタイ 8章10b～12節

＜新共同訳＞

新約聖書13～ 頁

マタイ 8章10b～12節

＜新改訳第3版＞

新約聖書13～ 頁

マタイ 8章10b～12節＜塚本訳＞

新約聖書87～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓**あるいは**説教**と表現される箇所です。
- ◇**マタイ8:10b～12**は、「**御子イエス・キリスト様**」により「**百人隊長の神信仰**」を「**褒めた**」後、「**御国の子ら**」が「**天の国**」から**放り出され(追い出され)**る警告なされた箇所です。
- ◇**使徒マタイ**が、**ツアラートらい病・はんせん氏病、中風(脳卒中・脳梗塞)、次週のペテロの姑の熱病**等、多くの病の人々が、**下って、カペナウム**に来られた時、**押寄せて来た**中で、**選別記録**したのですが、**目的は、次週の記録(マタイ8:17;イザヤ53:4)の通り、「御子イエス・キリスト様」**が、**あらゆる人々の病を背負って下さったことをあかし**するためです。  
⇒「**主よ、わたしはあなたを、うちの屋根の下にお迎えできるような者ではありません**」が、「**主・神の御子**」への**マタイの告白**です。

本論；

◇本日、**マタイ書8章10b～12節**から主の**使信**に**思い・心vous**をとめます。

◆**マタイ8章10b～12節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**が「**主の権威ある者・権威を持つ者**」を拒む「**御国の子ら**」を外の「**闇**」へと「**追い出される**」と言います。

◇**10b～12節**；塚本訳◆**百卒長の下男**

「10 イエスは聞いて驚き、ついて来た人たちに言われた、「アーメン、わたしは言う、イスラエル人の中でも、こんなにっばな信仰をもっている者を一人も見ることがない。

11 わたしは言う、(最後の日には、このような信仰のあついで)大勢の人が『東から西から』来て、天の国でアブラハムやイサクやヤコブと共に宴会につらなり、

12 (かんじんのイスラエル人、すなわち)御国の子供たちは外の真暗闇に放り出され、そこでわめき、歯ぎしりするであろう。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**10b～12節**；「イエスは聞いて驚き、ついて来た人たちに言われた、『アーメン、わたしは言う、イスラエル人の中でも、こんなにっばな信仰をもっている者を一人も見ることがない(10)、わたしは言う、(最後の日には、このような信仰のあついで)大勢の人が『東から西から』来て、天の国でアブラハムやイサクやヤコブと共に宴会につらなり(11)、(かんじんのイスラエル人、すなわち)御国の子供たちは外の真暗闇に放り出され、そこでわめき、歯ぎしりするであろう(12)』」と、『御国の子ら』・『**神信仰あり**』と、「豪語するイスラエル」は、「**天の国**」に入れな、彼らには、狭い門、細い道が、前進を阻むのです。

⇒「**百人隊長(百卒長)**」は、その信仰を誉めてもらいましたが、異邦人でユダヤ人から汚れた者、ユダヤ人でない無資格の者であることを体現しつつも、「おことば」を下さいと、主を求め、へりくだったことも、主を喜ばせたのです。

⇒「**御国の子ら・イスラエルの民**」は、自分たちこそ無資格と身を低くできなかつたのです。

- ⇒私たち、日本人も、「**百人隊長(百卒長)**」と同じ身分ですが、「**御子イエス・キリスト様**」の恵み、十字架の身代わりの死と復活、栄光の昇天、天の栄光の大祭司となって、天の門そのものとなられたので、「**御子イエス・キリスト様**」を通して、「**天の御国の民**」と、呼んでもらえる霊的資格を与えられているのです。
- ⇒私たちは、無資格なのに、主の恵みのゆえに主をほめたたえ、今朝も、身を低くして礼拝をささげているのです。
- ⇒「**EY師**」ほか、多くの信仰の先輩たちは、ひたすら身を低くして、「祈りとみことば聴従」を旗印に生きて礼拝して来られ、今も、「**天の御国**」で礼拝しておられます。
- ⇒「**天の御国**」は、**マタイの福音書の主題**ですが、多くの先輩があかししてくれましたように押し入れものではなく、主に迎え入れてもらうところです。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、「**百人隊長(百卒長)**」が「屋根の下に主をお入れする資格はありません、唯おことばを下さい」の信仰姿勢に感動されたのです。

⇒『わたしは言う、(最後の日には、このような信仰のあつい)大勢の人が『東から西から』来て、天の国でアブラハムやイサクやヤコブと共に宴会につらなり』です。『(かんじんのイスラエル人、すなわち)御国の子供たちは外の真暗闇に放り出され、そこでわめき、歯ぎしりするであろう』なのです。

⇒「**天の御国**」から締め出されるのは、「**御国の子ら**」と呼ばれたイスラエルの自負がその信仰を妨げたと、言い古されたことばですが、MS師も、「聖会で恵まれた」ではなく、「主をお喜ばせしたい」だと言われたことです。

⇒SY師が引用された**イザヤ55:10、11** (**【新改訳2017】**)を読みます。「**雨や雪は、天から降って、もとに戻らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与える(10)。そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、わたしのところに、空しく帰って来ることはない。それは、わたしが望むことを成し遂げ、わたしが言い送ったことを成功させる(11)。**」

## 結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
  - ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
  - ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。
  - ◇**マタイ8:10b～12**は、「**御子イエス・キリスト様**」により「**百人隊長の神信仰**」を「**褒めた**」後、「**御国の子ら**」が「**天の国**」から放り出され(追い出され)る警告なされた箇所です。
  - ◇**使徒マタイ**が、**ツアラートらい病・ハンセン氏病**、**中風(脳卒中・脳梗塞)**、**次週のペテロの姑の熱病**等、多くの病の人々が、下って、**カペナウム**に来られた時、押寄せて来た中で、選別記録したのですが、目的は、次週の記録(**マタイ8:17;イザヤ53:4**)の通り、「**御子イエス・キリスト様**」が、あらゆる人々の病を背負って下さったことをあかしするためです。
- ⇒「**主よ、わたしはあなたを、うちの屋根の下にお迎えできるような者ではありません**」が、「**主・神の御子**」への**マタイ**の告白です。

⇒使徒マタイは、「**病いの癒し**」を通して、「**神の権威・王権**」を「**百人隊長(百卒長)**」らの信仰の中に見ています。

⇒**SY師**は、「『**御国の子ら**』は、正当な嗣業権をもつ子ら、選民イスラエルのことです(12)。彼らはやがて受けつぐ神の国を宴会になぞらえ(11)、異邦人は入れないと考えました。…ゲンヒンノムの谷の暗黒こそ、汚れた異邦人にふさわしと考えました。」と仰せです。

⇒併し、その暗黒は、「**御国の子ら**」にふさわしいと「**御子イエス・キリスト様**」は、考え、そこで、「(かんじんのイスラエル人、すなわち)御国の子供たちは外の真暗闇に放り出され、そこでわめき、歯ぎしりするであろう」と、語られたのです。

⇒**マタイ8:9**を「わたし自身も指揮権の下にある人間であるのに、わたしの下にも兵卒がいて、これに『行け』と言えば行き、ほかのに『来い』と言えば来、また僕に『これをしろ』と言えば(すぐ)するからです。(ましてあなたのお言葉で、病気が直らないわけはありません。)」その信仰に学びましょう。